



あまみ



© Amami city

第42号

平成28年9月発行

市議会だより



第2回定例会

平成28年6月15日

～7月1日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P

常任委員会の所管事務調査・・・・・・・・・・7P

3常任委員会街頭募金・・・・・・・・・・8P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・・・9P

定例会の主な議案、請願・陳情・・・・・・・・10P

議員在職表彰式・・・・・・・・・・11P

議会の動き・・・・・・・・・・12P

会 例 定 質 問 第 2 回 一 般



六月十六日、十七日、二十日、の三日間で十二名の議員が市政全般について市当局に問いたされました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

土地の有効活用について

さきた
のぶまさ
崎田 信正
(日本共産党)



問 土地の有効活用について

答 末広・港土地地区画整理事業は、現状では、まだ事業半ばで全容を感じ得ることは難しい。今年度に幅員十六メートルの都市計画道路の整備を予定しており、具体的イメージが見えてくる。

名瀬港本港地区整備事業については、過去の需要調査から相当年数が経過しており再度需要調査を行い、現在、計画の見直しを検討している。

佐大熊併存住宅跡地利

用については、過去一回案件付一般競争入札を行ったが応募者がなかった。土地利用検討委員会で再度協議を図りたい。

朝仁なぎさ園跡地利用については、地域振興や地域活動に寄与することを考慮し具体的な利用計画を考えたい。

平松町コミュニティセンター用地は、下方地区の振興寄与と災害時緊急避難場所等総合的な観点で利用計画を検討したい。

知名瀬港背後については、地元の意見・提言を伺いながら利用計画を検討したい。

奄美市地域防災計画について

はしくち
こうたろう
橋口 耕太郎
(公明党)



問 平成二十八年度の奄美市地域防災計画で、前回の計画と比べて見直しを行ったポイントは

答 主なポイントは、①災害のすべてを防ぐことはできないという観点から「減災」を基本的な考え方とした。②「避難」において「指定避難場所等の設置基準、避難勧告の発令基準の明確化」、「住民へ避難伝達方法等の充実」を示した。③「男女共同参画」の観点から「避難所運営」におけるトイ

しやスペースの割り振り、

物資調達等に配慮するよう計画した。④「住民の責務・意識啓発」、「避難訓練への参加」、「各家庭での備蓄」、「自主防災組織、ボランティア」について示した。

問 奄美市教育大綱について策定した教育長の思い、決意は

答 本市の自然や教育風土を生かし、地域に開かれ、地域に根ざした、地域とともに歩むふるさと教育を推進するとともに、島口や島唄、伝統行事等を伝承し、生まれ育った奄美に誇りをもつ人材育成を目指すべく本大綱を策定した。

紬購入助成制度について

川口 幸義
(自由民主党)



問 紬再生事業について、新規事業、特に紬購入助成制度について

答 平成二十六年度から実施している。本場大島紬再生支援事業について、産地両組合龍郷町及び本市による協議会を組織し、在庫活用等を中心に事業を進めてきた。特に大島紬購入助成制度については、成人式用は費用の四割の上限二十万円、一般の場合は二割の上限十万円、洋服小物に仕立てる場合二割上限五万円を助成する内容となっている。

問 大島紬JAPANブランドについて

答 ブランド育成支援事業については、奄美大島商工会議所が事業主体となり、数社の紬業者が共同事業者として参加し、本場奄美大島紬のブランド確立プロジェクトとして国の補助事業採択を受けている。概要については、世界最高級織物として大島紬の地位を確立し、海外での市場獲得を目指すべく国内の有名デザイナーを起用してブランド化を図るもの。産地の両組合の底上げにつながり、地域へ波及効果も大きい。

奨学金制度について

渡 雅之
(無所属)



問 奨学金制度について

答 奄美の学生が利用している奨学金は四種類程あります。その中で、奄美市ふるさと創生人材育成基金が本市の制度です。内容は、高校、高専、大学が対象で、最高月額三万五千円で四年間貸付して、卒業六か月後から返済が始まり、無利子で行っている。

問 給付型奨学金制度の創設はできないか。

答 現在の定額基金運用制度で対応できるのか今後、他市の状況や制度内容を分析していきたい。

問 子どもの貧困についての認識と補助費目について

答 子どもの貧困は六人に一人との結果で、本市では保護率や準要保護率の高さから、その割合は更に高いと思われる。その為、学用品や給食費等への補助を行っている。

その他の質問事項

- ミカンコミバエ対策
- 世界自然遺産登録
- 大熊・芦良トンネル



「プロジェクト戦略推進課」設置について

元野 景一
(自由民主党)



問 市長の政治姿勢について、「プロジェクト戦略推進課」設置について朝山市長の基本的姿勢を問う、奄美市のふるさと納税にとりかかるにあたって、奄美市は全国・県内・郡内と比較して、たび重なる議会での質問があるにもかかわらず、ふるさと納税の取りかかりがおそく、奄美市がブームに乗り遅れたことは事実、どの様に分析して対策をとられるつもりか

答 平成二十七年度、全国で最も多くふるさと納税を受け入れた宮崎県都

城市は、約四十二億円、奄美市は全国千七百自治体中、八百九十九位約千二百万円、奄美群島内は瀬戸内町で約七千四百万円となっている。奄美市もこれらの自治体を参考に、ふるさと納税の推進を図っていく。組織体制を強化させて、取りかかりの遅れを奄美市「攻め」の総合戦略にふるさと納税推進を位置付け、目標額一億円を設定、この目標額は、最終的ゴールでなく、企業版ふるさと納税やさまざまな施策を推進させていきたい。



ふるさと納税推進事業講演会

九州防衛局の奄美大島への

部隊配備の説明について

三島 照 (日本共産党)



問 九州防衛局の奄美大島への部隊配備についての説明会を受け感想は

答 駐屯地の整備や工事の発注、その他、地元との交流など、丁寧な説明があり有意義な説明会であったものと認識している。

問 市全体を対象とした説明会が必要と思うが、市長の見解は

答 現在のところ予定はしていない。

問 住用町市湾の調査について、具体的な進捗状況は

答 平成二十一年度からサ

ンゴ礁生息地域のモニタリング調査を実施している。群島内十二市町村で構成している、「奄美群島サンゴ礁保全対策協議会」が毎年二月頃に行っている。

問 学童保育所の現状は（公設・民営）それぞれの保護者負担は

答 公設は、概ね月額五千円から六千円で民間は一万円前後となっている。その他に小学校の保育を実施している施設としては、認可外保育施設託児所などは、市からの補助金はない。

企業版ふるさと納税制度について

津畑 誠 (無所属)



問 企業版ふるさと納税制度の取り組みについて

答 寄附金の使途を市の実施する各種事業レベルで明確にした後、地域再生計画を策定し、国の認定を受けた事業が対象になる。また、市の財源確保の新たな手段である為積極的に活用し、地方創生を推進していく。

問 国の認定に向けたタイムスケジュールは

答 本年六月十七日締め切り、認定は八月中旬頃になる予定。

問 ふるさと納税推進に向けた庁内組織体制は

答 プロジェクト戦略推進課が中心となり住用・笠利・本庁内の関係課で連携を図り横断的な取り組みをしている。

問 末広・港地区区画整理事業の進捗率・完了年度について

答 平成二十七年度末で事業費ベースで約七十四％建物移転ベースで約八十二％で、平成三十年の事業完了を目指している。

問 中心市街地活性化基本計画について

答 本年十二月までに内閣府と計画内容の調整を完了し、年明けに申請を行い年度末に認定予定。

市長が考える奄美市の

未来像について

林山 克巳 (自由民主党)



問 市長が考える奄美市の未来像についての見解は

答 総合戦略の中で「しあわせの島」と位置付け、身近な家族や友人を幸せにすることで、集落や町さらには島全体へと好循環が生み出されていくものと思う。

問 人口ビジョン（Ｕターン・Ｕターン・Ｊターン・Ｏターン）についての問題点に対する対策、施策はあるのか

答 Ｔターンは、移住した地域になじめないこと。Ｕターンは、家族で住むための住宅が不足。Ｊター

ンは、近隣都市への移住よりもＵターンへの促進活動が希薄。Ｏターンは、出身地と都会を行ったり来たりするが、仕事と住宅が不足。以上のことから、まずは、住宅の確保が重要であると思う。

問 小宿地区の土地区画整理事業の浄化槽・下水、大川増水災害（公民館から小学校にかけての道路）、道幅（火災時ににおける）などを優先的にできないものなのか

答 土地区画整理事業に組み込まれている問題は、一つを先に実施してしまうと、後から再度見直すことが予測される為、土地区画整理事業の有無で考えている。合意形成の機運を重要視している。

本庁舎建設について

やすだ
安田 壮平
(自民新風会)



問 本庁舎建設の時期は他の公共事業が集中するため地元の専門工業者に人手不足や受注機会の逸失への不安が広がっているが、見解は

答 適切な工期を確保し、庁舎建設の円滑な進捗に努めるとともに、地元業者の受注機会の確保を図り年間を通して公共事業が施工できるようにしたい。

問 名瀬小学校の校庭の一部を公用車の仮駐車場として使用することについて

答 学校側と協議し、旧

体育館跡地に三十台分の

駐車場を造る。八月下旬

に完成予定。出入口を支

庁通りに設け、周囲に高

いフェンスを建てて、児童

の安全を確保したい。学

校側や市民に対し丁寧に

周知を図っていきたい。

問 奄美和光園の将来構想実現に向けた動きは

答 「ハンセン病市民学会」から提案があったが、国の施設でもあり、具体的活用案はまだ決まっていない。今後継続して関係機関と連携を図りたい。

問 地方創生の「奄美幸福度指数」の策定について

答 昨年度の市民アンケートに基づいて日銀短観等のD-Iの手法で指標化する。

自衛隊誘致について

せき
まさゆき
関 誠之
(社会民主党)



問 自衛隊誘致について市長の基本的考え方は

答 六月五日の防衛省の説明会で説明責任は果たせたかについて、市長は奄美市として「自衛隊誘致」の意思決定やそれに伴う行動を起こしたことはない。大熊地区以外の参加を頂き、活発な質疑を賜ったので、別途、場所を変えての説明会は予定していない。

問 現在の進捗状況と日程は

答 用地取得を終え、所有権移転登記中、平成二十八年度に実施設計、三十年度にかけ建設工事

を実施し、三十二年当初から部隊配備に向け整備する。

問 一ヶ所で四千食を調理し、各校に配送するリスクを抱えた学校給食センター建設の理由は何が

答 十七校の調理場の六割が建築後三十年を経過し老朽化している。衛生管理基準に適合させ、安心安全な給食を提供するセンター整備である。

問 三ヶ所程度の分散型給食センターの検討は

答 平成二十六年度の学校給食施設整備検討委員会で、一ヶ所に整備する方針を決定している。

地方創生に向けた生産牛の振興について

おく
てるひと
奥 輝人
(自由民主党)



問 笠利地区の営農センターと名瀬地区の農業研修センターに、畜産コースの新設ができないか

答 担い手農家を育成する為に研修制度の見直しを検討している。畜産コースについて、今後大規模農家等への研修依頼を含め、検討したい。

問 市有牛貸付者への助成について

答 市独自の肉用牛導入事業の創設や簡易資材の購入における支援策を実施、また昨年度の、五年間の貸付を六年間に延長し農家負担の軽減を図つ

ている。補助金の復活は現段階、困難である。

問 大島地区肉用牛振興大会の誘致について

答 三年に一度、持ち回りで開催されている。北大島地区への誘致については、施設を笠利家畜市場が整備されているので、開催に向け検討していく。



笠利地区生産牛

子どもの貧困率について

おおさこ
大迫 勝史（公明党）



問 子どもの貧困率が六分の一となり社会問題化している。本市の現状と見解はどうか

答 生活保護世帯や必要保護世帯、児童扶養手当を受給している「ひとり親世帯」また関係機関から情報提供があった世帯へはある程度の状況把握と必要な支援を実施している。それ以外は関係機関からの情報提供がない限りの把握できていない現状である。今後の調査は総務課、教育委員会、学校などと協議しながら慎重に検討してまいりたい。

問 「ミニ人間ドック」時にピロリ菌検査の導入はできないか

答 現在、本市では「ミニ人間ドック」時に胃がん検診を実施しており受診率向上に力を入れているところである。ピロリ菌検査については国の指針や他市の状況また精度管理等、検討を重ねていきたい。

その他の質問事項

- 国道五十八号タイヨ平田店前の危険性について
- 家庭内のLED助成について
- 名瀬地区に公設のグラウンドゴルフ場整備について

奄美群島市町村議会議員大会

第五十九回奄美群島市町村議会議員大会が五月十九日、喜界町民体育館で開催されました。

十二市町村の議会議員や市町村長が出席し、奄美群島振興交付金を活用した、産業振興・人材育成施策・雇用の場の拡充を図るとともに、地方創生に向けた取り組みを推進していかなければならないと宣言。

各地区から提出された八議案の採択と奄美群島振興交付金の充実・拡充など十七項目の決議を可決しました。

【採択された八議案】

- ①喜界高校に特別支援学校高等部の分教室または特別支援学級の設置を求めることについて（龍郷町・喜界町）

⑥複式学級におけるICT（情報通信技術）の導入について（議長会）

⑦産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）

⑧重要病害虫ミカンコミバエ種群早期根絶・防除へ向けての適切な対応について（議長会）

- ②奄美群島航空運賃低減の拡充について（奄美市）
- ③国道五十八号勝浦く阿木名間トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）
- ④関西・徳之島間のLCC航空路線の開設について（徳之島町・天城町・伊仙町）
- ⑤定期航空路線の開設について（和泊町・知名町・与論町）



奄美市の提案事項を説明する
多田義一産業建設委員長

あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成28年第3回定例会は9月5日開会です

一般質問は、9月6日（火）・7日（水）・8日（木）・9日（金）の4日間を予定しています。

（質問者は未定）

常任委員会の 所管事務調査

市議会には三つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に担当して審議しています。

各委員会では、全国の先進事例を参考にするため、一年に一回、現地に赴いて調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り、許可しております。

五月に調査を行いましたので、紙面で報告いたします。

総務企画委員会

○参加者

橋口和仁、関誠之、平川久嘉、伊東隆吉、里秀和、安田壮平、栄ヤスエ、松山さおり

○調査日程

五月二十九日～六月二日

○調査場所と調査事項

①北海道幕別町
自治・議会基本条例の制定について

新庁舎完成後の議会機能

②北海道芽室町

自治基本条例の具体的な取組・議会基本条例制定について

③北海道帯広市

フードバレーとかち

北海道芽室町での調査現状



北海道帯広市議会前にて

産業建設委員会

○参加者

多田義二、戸内恭次、与勝広、川口幸義、師玉敏代、三島照津、畑誠

○調査日程

五月三十一日～六月三日

○調査場所と調査事項

①島根県松江市
ふるさと納税について
②島根県海士町
産業振興・観光振興・一次産業の振興への取組みについて



島根県松江市での調査現状

文教厚生委員会

○参加者

渡雅之、元野景二、大迫勝史、竹山耕平、林山克巳、奥輝人、崎田信正、橋口耕太郎

○調査日程

五月十日～十三日

○調査場所と調査事項

①青森県青森市
認定こども園・幼稚園・保育所などの入園入所状況について
待機児童等の現状と課題について
②東京都西東京市
ささえあいネットワークの取組について



島根県海士町役場前にて



東京都西東京市役所前にて



青森県青森市での調査現状

③東京都豊島区
NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークの子ども食堂の取組について

調査内容については、各委員会審査及び一般質問において、市政への反映を目指してまいります。

熊本地震被災地に義援金



義援金を朝山市長へ手渡す竹山議長



総務企画委員会



産業建設委員会



文教厚生委員会

市議会で熊本地震への対応を協議し、五月十六日に常任委員会ごとに市内三カ所で街頭に立ち、市民へ募金を呼びかけました。

同日は、六万九千六百十六円の善意が寄せられました。

五月二十六日は、募金に加え各議員が五千円ずつ募金した十二万円と合わせ、義援金として竹山議長と師玉副議長が朝山市長へ手渡しました。

※義援金は日本赤十字社を通じ、被災地に送られます。

人 事 案 件

○奄美市固定資産評価員の選任について

第2回定例会で選任され、同意されました。

奄美市税務課長

田中 義一郎 氏（新任）

平成28年度 議会報告会を平成28年10月20日（木）に開催します！！

（名瀬地区、住用地区、笠利地区）

第二回 定例会 常任委員会の審査概要

第二回定例会における常任委員会では、六月二十九日に文教厚生・産業建設、三十日に総務企画のそれぞれの委員会での議案・陳情等について審査しました。

常任委員会での審査について紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案六件及び陳情一件を審査し、議案六件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情一件を継続審査としました。

一般会計補正予算の主なものとして、個人番号マイナンバーカード交付事業費補助金として七百三十七万六千円を計上したとの説明がありました。委員から、マイナンバーカードの進捗状況と進捗の遅れについての質疑があり、五月三十一日現在の本市の進捗率は九三％の四千三百三十一人で、進捗の遅れについては、使用する頻度が少ない事が考えられ、今後このカードで住民票や戸籍がとれるような整備

がされると増えていくと考えているとの答弁がありました。

次に大学等設立可能性調査事業負担金の今後の進め方と民間の声を聞く場合はあるかとの質疑に対し、補正予算可決後に速やかに公募を行い、七月下旬に委託業者を決定し、来年三月までの八か月で調査を行う予定で、設立に関する二回調査に於いて、例えば専門学校や高校の進学に関する意見等も調査していく予定であるとの答弁がありました。

次に委員より、今後の職員数について質疑があり、職員数については、合併時の各支所の職員数は名瀬四百七十九人・住用七十二人・笠利六百六十三人の七百四十四人で、平成二十八年度は、名瀬四百四十五人・住用三十八人・笠利百三人の五百八十八人であるとの事、今後財政課・企画課とも協議をしながら職員数については六百十五人程度は必要であるとの答弁がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案六件、請願一件を審査し、議案六件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願一件を採択すべきもの、請願一件は、不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、保育士賃金として二千四百六十四万九千円、保育所等における業務効率化推進事業補助金として六十万円、放課後児童クラブ環境改善整備推進事業補助金として四百万円、学校図書賃金として五百七十七千円、名瀬運動公園多目的屋内練習場工事請負費として三百五十万円を計上した等の説明がありました。

保育士賃金について質疑があり、有資格者でクラス担任は、昨年度より二万二千円上げて十四万五千円に改定したとの説明でした。学校図書について質疑があり、小中学校九校のうち、八名が一般職非常勤職員となっており有資格者は一名との説明でした。

国民健康保険直営診療施設助定特別会計補正予算の主なものとして、笠利診療所歯科業務休診に伴う歯科業務委託料九百二十四千円の減額で、今後は、歯科医師の確保など条件が整えば診療を再度検討した

いとの説明でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして、本年度より居宅介護サービスとして位置づけられていた通所介護（デイサービス）事業所が、定員十八名以下の小規模事業所については、地域密着型サービスに移行されることに伴い、該当サービスに要する費用について、居宅介護サービス給付費・居宅介護予防サービス給付費から、地域密着型サービス費・地域密着型介護予防サービス費へ予算の組み替えをするものと説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案五件及び陳情一件を審査し、議案五件はすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情一件を継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局から、あまみんちゅ結事業負担金について、各地で組織されている奄美会との連携及び地域間交流を強化し、奄美の魅力を広くPRするものとの説明がありました。委員から活動実績について質疑があり、平成二十六年度は中部奄美会の記念式典参加、関東でのタンカントップセールス会場及び関西での観光物産展等で開催している。平成

二十七年度は中部での奄美PRイベント参加や、福岡・沖縄で奄美のタベを開催し、芸能発表や、奄美の銘柄の黒糖焼酎や郷土料理を味わっていただいた。その他ふるさと納税などの情報発信を兼ねた活動を行っているとの答弁がありました。

平成二十八年度奄美市水道事業会計補正予算について、朝日地区簡易水道区域拡張事業とあるが、何故自衛隊の事業と分かるように記載しないのか質疑があり、今回は民生用も含まれており、給水区域外となっているため、その区域を拡張するという事業名になったとの答弁がありました。給水インフラの整備費用負担についての質疑があり、基本的な考え方として自衛隊に特化した部分は全額自衛隊負担をお願いし、民生用と自衛隊部分の共用に関しては按分する方向で協議を行っているとの説明がありました。

奄美市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について、制限地域に関する質疑があり、本市の特別用途地区における制限となるため、準工業地域と工業地域に対する規制であるとの説明がありました。

第 2 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて (専決第4号 奄美市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認	本会議
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて (専決第5号 奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	本会議
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて (専決第8号 平成28年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)	承認	本会議
議案第61号	平成28年度奄美市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決	全委員会
議案第62号	平成28年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第63号	平成28年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第64号	平成28年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第65号	平成28年度奄美市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第66号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第67号	奄美市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第68号	奄美市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第69号	奄美市土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第70号	奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第71号	奄美市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第72号	奄美市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第73号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	総務企画
議案第74号	財産取得について	原案可決	総務企画
議案第75号	奄美市道路線の廃止及び認定について	原案可決	産業建設
議案第76号	固定資産評価員の選任について	同意	本会議
発議第2号	米軍属による女性遺体遺棄事件に対する抗議決議について	原案可決	本会議
発議第3号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元を図るための、2017年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第5号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について	原案可決	本会議

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

受理番号	件 名	提 出 者	議決結果	付託委員会
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係る請願書採択の要請について	鹿児島県教職員組合 奄美地区支部奄美地区協議会 議長 高 幸広	採択	文教厚生
請願第2号	受動喫煙防止運動の展開について	涉 秀憲	不採択	文教厚生

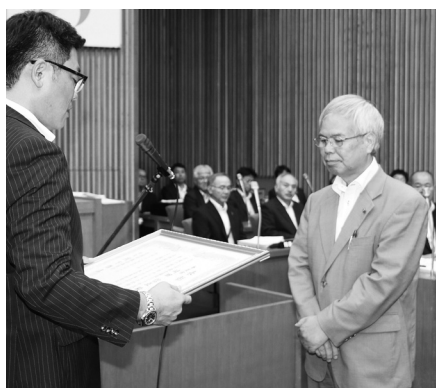
※前議会からの継続審査事件

受理番号	件 名	提 出 者	議決結果	付託委員会
平成27年 陳情第16号	「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	奄美民主商工会 事務局長 岡田 美幸	継続審査	産業建設
平成27年 陳情第17号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	新日本婦人会の会 奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	継続審査	総務企画
陳情第2号	「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	自然と文化を守る奄美会議 大津 幸夫	継続審査	総務企画

表 彰 状 況 の 伝 達 式



奥輝人議員



崎田信正議員



平川久嘉議員



橋口和仁議員

去る五月三十一日、東京で開催された第九十二回全国市議会議長会定期総会で、崎田信正議員が十五年永年在職議員表彰を受けられました。また、奥輝人議員、橋口和仁議員、平川久嘉議員が十年永年在職議員表彰を受けられました。

第二回定例会の最終本会議終了後に、全国市議会議長会から送られた表彰状の伝達式を行いました。

※与勝広議員は所属する党の方針により、勤続十五年以上の永年在職表彰を辞退しました。

議 会 の 動 き

- 平成28年 5月 6日 議会だより編集委員会
 8日 平成28年度笠利生涯学習講座開講式
 9日 議会運営委員会
 平成28年度奄美市体育協会総会・交流会
 10日 文教厚生委員会所管事務調査(10日～13日)
 19日 第59回奄美群島市町村議会議員大会(喜界町)
 22日 平成28年度名瀬・住用地区生涯学習講座開講式
 29日 総務企画委員会所管事務調査(29日～6/1日)
 30日 鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会(東京都)
 31日 全国市議会議長会第92回定期総会(東京都)
 産業建設委員会所管事務調査(31日～6/3日)
 6月 1日 各種協議会総会(1日～3日)
 6日 奄美市議会第2回定例会招集告示・議案配布
 8日 議会運営委員会
 14日 平成28年度大島北高等学校教育振興協議会総会
 15日 奄美市議会第2回定例会開会、全員協議会
 16日 一般質問 崎田議員、橋口(耕)議員、川口議員、渡議員
 17日 一般質問 元野議員、三島議員、津畑議員、林山議員
 20日 一般質問 安田議員、関議員、奥議員、大迫議員
 22日 本会議
 23日 常任委員会(文教厚生・産業建設)
 24日 常任委員会(総務企画)
 27日 議会運営委員会
 29日 奄美市開発公社評議員会
 奄美大島商工会議所青年部第30回通常総会
 30日 第70回県体・第57回大島地区大会結団式
 7月 1日 最終本会議、永年在職議員表彰状の伝達式、全員協議会
 2日 小湊小学校新校舎落成式
 7日 平成28年度全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会(静岡県)
 12日 奄美群島さとうきび価格対策協議会総会
 14日 鹿児島県市議会議長会定期総会(指宿市)
 15日 平成29年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会
 20日 「海の日」・式典・表彰式
 22日 「奄美市農林産物加工センター」稼働式

市議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

師玉 敏代
松山 さおり
関 誠之
安田 壮平
崎田 信正
伊東 隆吉
橋口 耕太郎
林山 克巳

編集あとがき

一年ぶりに編集あとがきを書くことになった。原稿を書いているのは、七月初旬である。この稿が皆様のお手元に届くのは九月初旬になると思う。季節感からすれば少しばかりのタイムラグが生じる。おそらく表紙には「奄美祭りの踊りや舟漕ぎの集合写真が一面を飾ることだろう。その写真には、昨年いた先輩方が消え、新たな志を持った議員に変わっていると思う。論語に「吾十有五にして学に志し、三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳従う。七十にして心の欲するところに従えども、矩を踰えず」とある。私も、六十の半ばである。先輩議員から教わってきたことを、この境地で、後輩議員と共に議論し夢を語りたい。議員の考えや思想はさまざまだが、奄美をより良くしたい気持ちは同じである。市民の叱咤激励とご指導をお願いしたい。

(関 誠之)

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/gikai/shiss/shigikai/index.html>